

感動の場

『風景』

1934 年 小川原 脩 画



この4月から、小川原脩が描く北海道の風景を1年にわたり紹介したいと思います。1930年から45年までの東京時代を除き、人生の大半をここ倶知安で生きた小川原。そう聞くと、じっと殻に閉じこもるように倶知安のアトリエで描き続けた印象を持たれるかもしれませんが、実は各方面から依頼されての取材、全道展の地方巡回に赴くなど、北海道内の旅行を重ね各地でスケッチし、そして油彩画として制作していました。

東京美術学校（現・東京藝術大学）に進学後、夏休みに帰省し故郷の風景を描いたこちらの1点。町内の小高い丘から西の方向へ、イワオヌプリやワイスホルンの裾野にひろがる倶知安の田畑を眺めています。

淡く写実的な遠景の山並みに対して、前景の田畑は野太い線が強調され、鮮やかな青や桃色が丘を彩り、まさにフォーヴィズム（野獣派：色彩の大胆さから「野獣（フォーヴ）の檻おりにいるようだ」とその荒々しさが評されました）の影響を見せています。美校での学びは印象派を中心としたものだったようですが、おのずから新たな潮流を求めて吸収していた頃の、はつらつとした帰郷のワンシーンが目に浮かびます。

文：沼田 絵美（小川原脩記念美術館 学芸員）

ふる探訪

468 回

ニセコアンヌプリ着氷実験の補助員 —竹内吉男氏について—

第二次世界大戦中の最中、ニセコアンヌプリの山頂で、北海道帝国大学の中谷宇吉郎博士が主導した着氷実験ですが、実に多くの人が関わりました。今回紹介する竹内吉男氏（1910-2009）も、その一人です。

竹内氏は、もともと函館で電気屋を営んでいましたが、電気技術の高さを買われ、着氷実験に参加しました。この時、彼は一度軍からの召集を受けますが、着氷実験に欠かせない人物であることから、中谷博士自ら軍部に掛け合い連れ戻したそうです。1943年から始動した山頂実験所には、高压電線や風洞装置（風を起こすための機械）、100馬力モーターなどが設置されましたが、竹内氏はその動力線の敷設や、風洞装置をはじめ、電気を使った機器の保守を担当しました。

着氷実験で研究員を務めた井上直一博士は、戦後に潜水探測機「くろしお号」の開発を進め、マリンスノー※を発見し、その名称を初めて論文で用いた人物ですが、竹内氏はこの「くろしお号」の開発や、青函トンネル工事のための事前調査などにおいても多大な貢献をしました。

※海洋の上層から降り注ぐ生物由来の破片や死骸のことで、深海生物の重要な資源になっていると考えられている



▲実験所前での集合写真（竹内氏は前列左から2番目）と、風土館来館時に吉男さんの写真を指さす次女の石川香寿子さん



文：小田桐 亮（倶知安風土館 学芸員）

展覧会のお知らせ

■第1展示室

小川原脩展「遙かなるイマージュ」

倶知安を代表する油彩画家・小川原脩の画業をたどる展覧会。
会 期：開催中～5月15日(日)

■第2展示室

渡会純わたらいじゅんすけ 价展 音楽がつむぐ わたしの世界一坂井コレクションより
小樽市出身、札幌で活躍する版画家・渡会純价さん。爽やかな色彩や音楽性に富んだ作品は多くのファンに親しまれ、そのうちの一人、倶知安にギャラリーを構える坂井和子さんのコレクションから紹介します。

会 期：開催中～4月17日(日)

おしゃべり美術館 対話鑑賞のススメ

小川原脩の作品を、会話を楽しみながら鑑賞する展覧会です。作品の中では犬や馬、水牛、鶏が自由に振る舞っています。友人と、家族と、おひとりでも、絵の中の出来事をひも解いてみましょう。

会 期：4月23日(土)～7月10日(日)

アート・イベントのお知らせ

■ギャラリー・トーク

「おしゃべり美術館 展覧会の楽しみかた」

美術鑑賞は「お静かに」がマナー？「おしゃべり」をしながら作品をよく見て楽しむ方法をご紹介します。一緒に小川原脩の絵にひそむ秘密に迫りましょう。

日時：4月23日(土)14時～14時30分 会場：第2展示室（無料）

お話：沼田 絵美（学芸員）

■土曜サロン

おとなの手しごと(11)「とうめいスクラッチ」

渡会純介さんのオリジナル技法「る・みえーる法」。この不思議な作品づくりからヒントをもらって、カラフルなスクラッチアートに挑戦します。

日時：4月16日(土)14時～16時 会場：ロビー（無料）

お相手：沼田 絵美（学芸員） 定員：10名 ※要予約、高校生以上、親子可

京都追遥しょうよう(8)「文化の礎を訪ねて～洛東3～」

794年の平安遷都に始まる京都の歴史。幕末維新までの千年の間、都が置かれた京都をしのぶ名所を巡ります。今回は朱の大鳥居の平安神宮、南禅寺から、哲学の道に沿って法然院、銀閣寺を巡ります。

日時：4月30日(土)14時～15時20分 会場：映像ルーム（無料）

令和4年度 展覧会スケジュール

第1展示室	第2展示室
小川原脩展「遙かなるイマージュ」 ～ 5月15日(日)	おしゃべり美術館 4月23日(土)～ 7月10日(日)
小川原脩展Ⅰ（第1期） 5月21日(土)～ 8月15日(月)	しりべしミュージアムロード共同展 7月16日(土)～ 9月25日(日)
（第2期） 8月20日(土)～11月27日(日)	京極夏彦 美術展 10月 1日(土)～11月27日(日)
第64回麓彩会展 12月10日(土)～ 2月26日(日)	小川原脩展Ⅱ「小さな傑作選」 12月10日(土)～ 2月 5日(日)
小川原脩展Ⅲ「アジアの大地」 3月 5日(日)～ 5月14日(日)	小川原脩セレクション「戦地スケッチ展」 2月11日(土)～ 4月16日(日)

※展覧会の会期・内容は変更になる可能性がありますので、ご了承ください



小川原脩記念美術館 ☎21-4141
観 覧 料：一 般 500円（400円）
高 校 生 300円（200円）
小中学生 100円（50円）
倶知安風土館 ☎22-6631
観 覧 料：一 般 200円（100円）
高校生以下、美術館観覧者無料

開館時間は9時～17時
入館は16時30分まで
※（ ）内は10名以上の団体料金
4月の休館日 毎週火曜日
美術館：18～22日
（展示替えのため）
展覧会初日（4月23日(土)）は観覧料無料